

AIの衝撃 その現状と展望



最近あちこちで耳にする「AI（人工知能）」。どこか遠い世界の話ではなく、医療や介護、産業、教育や育児など、私たちの身近に活かされつつあります。その一方でAIに人の仕事が奪われるのではという不安もあります。今回はAIの現状と課題についてご紹介します。

1/18 木曜日 午後2時～3時30分

講師：小林 雅一氏  
 (KDDI総合研究所リサーチフェロー、作家)  
 会場：5階 研修室1  
 対象：16歳以上の方  
 定員：40人（事前申込先着順）  
 受講料：600円（一律）



初めての方も大丈夫 おもてなしに使える1日「中国語体験」



海外からの観光客と気軽に交流したいと思いませんか？初めての方も大丈夫。今回は中国語の挨拶や道案内に使える簡単で実用的な言葉やフレーズを学びます。

1/10 水曜日 午前10時～正午

出演：金 洪連氏  
 (中国茶道サロン潤茶屋オーナー)  
 会場：5階 研修室4  
 対象：16歳以上の方  
 定員：25人（事前申込先着順）  
 受講料：700円（一般）  
 490円（高割・障割）



使える！役立つ！ おもてなし英会話 文化編



観光に来た外国人と気軽にコミュニケーションできるといいですね。すぐに使える実用的な英会話を、ネイティブの講師と楽しく学びましょう。

1/8～3/26 毎週月曜日  
 (1/15・22、2/19、3/12を除く)8日制  
 午後7時～8時30分

講師：ジニー・ウィルソン氏  
 (REDWOOD所属 外国人講師)  
 会場：5階 研修室1  
 対象：16歳以上で英検3級程度の方  
 定員：25人（事前申込先着順）  
 受講料：5,800円（一般）  
 4,060円（高割・障割）



長距離走・マラソンの行程表 スタートラインに立つまで



どうしたら勝てるか、記録を出せるかということではなく、長距離走、マラソンのスタートラインに立つまでの行程表を、様々なランナーのエピソードなどを交えながら辿って行きます。

1/19 金曜日 午後7時～8時30分

講師：越智 房樹氏  
 (東京未来大学、早稲田大学競走部出身)  
 会場：5階 研修室1  
 対象：16歳以上の方  
 定員：40人（事前申込先着順）  
 受講料：1,000円（一律）



初めての方も大丈夫 おもてなしに使える1日「韓国語体験」



海外からの観光客と気軽に交流したいと思いませんか？初めての方も大丈夫。今回は韓国語の挨拶や道案内に使える簡単で実用的な言葉やフレーズを学びます。

1/12 金曜日 午後2時～4時

出演：金 賢珠氏  
 (GSK韓国語学院 韓国語講師)  
 会場：5階 研修室4  
 対象：16歳以上の方  
 定員：25人（事前申込先着順）  
 受講料：700円（一般）  
 490円（高割・障割）



名作シネマで学ぶ憲法の諸原則と刑事裁判



この講座は、名作映画を教材に、法律のことを分りやすく学び合うことのできるユニークな講座です。現実味をおびてきた憲法9条改正、裁判員制度など、私達の生活や未来に深く関係する法律について、ご一緒に考えることができる貴重な機会です。是非ご参加ください。上映予定映画：チャップリンの『独裁者』、グレゴリー・ペック主演の『アラバマ物語』

1/9～30 毎週火曜日 4日制  
 午後2時～4時

講師：新井 剛氏  
 (獨協大学国際教養学部教授)  
 会場：4階 講堂  
 対象：16歳以上の方  
 定員：50人（事前申込先着順）  
 受講料：2,000円（一律）



ちよつと気になる 千住のタテモノ

③千住金属工業株式会社本社と 石洞（せきどう）美術館



センター棟の左右に双鶴楼（右）と昇龍楼（左）



石洞美術館横に4つ目の六角形、茶館「妙好（みょうこう）」障がい者の方々への自立を応援しています。



緩やかなスロープ



軒丸瓦にはすべて千住金属工業のマークが入っています



シックで落ち着いた館内、間接照明も六角形



石洞美術館「あつめて楽しい中国陶磁」9月2日（土）～12月17日（日）大人500円、学生300円、障がい者・65歳以上無料 開館時間 午前10時～午後5時 休館日はHPでご確認ください。 足立区千住橋戸町23

新しい街づくりが続く千住橋戸町に、ひととき目を引く建物があります。赤いレンガの六角形建物、銅板本瓦葺き屋根、メイン2棟には2羽の鶴と昇龍の風見鶏（安藤泉作）が輝いています。宗教関係の施設？と思ってしまうかもしれませんが、ここは世界屈指のはんだ材料メーカー、千住金属工業の本社。昭和13年の創業です。現在の建物は平成17年の竣工、会長であった佐藤千壽氏の「建物も藝術でなくてはいけない」のコンセプトで設計されました。建物の低層部には佐藤氏が収集した美術品を収蔵する「石洞美術館」があります。シックな内装で緩やかなスロープが上階につながっています。建物見物も兼ね、一度足を運んでみては如何でしょうか。

新しい商業施設や大型マンションが並ぶ街にオリエンタルな雰囲気のある赤い建物が目をくぎ付けにします。